

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 83 : ^{つしまし}長崎県対馬市 (人口: 31,798人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・博多港からフェリーで4時間30分(厳原航路)、5時間40分(比田勝航路)、博多港からジェットフォイルで2時間15分(厳原港) ※韓国・プサンからの国際航路あり
- ・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で約35分

(2) 事業実施の目的等

「学びの力を地域に、地域の力を学びに」。地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて地域を元気にするため、学生のみなさんのフィールドワーク(実習や調査研究等)を積極的に受け入れています。

(3) 体験の内容(主に3つのプログラムをご用意)

- ア)「対馬市島おこし実践塾」:全国各地の学生、地元高校生が集い学び合う実践形式の短期合宿です(8月下旬~9月上旬の間の4泊5日)。地域の現状を知りたい、地域おこしのあり方等を学びたい。地域に飛び込むきっかけ・入門編としてオススメです。
- イ)現場学「学生実習」:数週間~数ヶ月間、現地に滞在し、具体的な地域実践活動(教育や行政、環境・産業(起業)・建築等)を通じて、現場で求められる考え方・スキル等を身に付けます。
- ウ)「フィールド研究」:対馬をフィールドに調査研究に取り組む学生をサポート。協力者や情報提供のみならず、調査研究に要する経費補助制度もあります(公募審査制)。

(4) 受入主体

対馬市
(九州と朝鮮半島の間には浮かぶ国境離島です)

(5) 受入期間

平成29年7月~平成29年3月頃
(※プログラムにより受入期間や滞在日数は異なります)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:自己負担(※島内送迎は受入側対応) 宿泊費:受入側負担(予定) 食事・保険等:自己負担 ※講師代・指導料等は主催者負担
①要件	大学・専攻・学年など不問。地域の方々と積極的にコミュニケーションを取りながら現場で学びたい学生を歓迎します
②応募締切り	平成29年4月~7月中に募集予定
③宿泊施設	ア)民家へのホームステイ、イ)域学連携活動・滞在拠点施設等、ウ)各自で手配
④食事形態	ア)地区の方々による炊き出し等、イ)自炊、ウ)自炊等
⑤その他	平成29年度の募集の詳細は4~7月中に「対馬市域学連携ポータルサイト」に掲載します。ア)は参加費として1万5千円が必要となります(宿泊費・食費込)

(7) 地域担当者から一言

みなさんはなぜ地域に関心があり、何のために地域おこしをしたいのでしょうか。地域とは何か、ふるさととは何か。地域おこしを行う上で何が大切なのか、何を守るべきなのか。それは地域の方々との交流しながら、見て聞いて体験してみないと分かりません。現代社会は、人として大切なことを見落としがちです。人が温かく人情あふれる対馬は、その大切なことを気付かせてくれます。地域おこしの根本・あり方を学びたい学生のみなさん、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名:対馬市	担当部署:しまづくり推進部 市民協働・交通対策課
(ふりがな) 担当者氏名 域学連携担当 前田 剛	TEL:0920-53-6111(代表) 内線:473 FAX:0920-53-6112(代表)
E-mail: ikigaku@city-tsushima.jp	
URL:域学連携ポータルサイト	http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/
応募宛先 〒817-8510	長崎県対馬市厳原町国分1441番地